

Mi-COM

武蔵工業大学後援会誌

No. 26

2002-8



あふれる気合。東西キャンパスの合体。
学生一人ひとりに広がる融合の和。
若者たちの情熱と努力が、
伝統行事・体育祭を成功へと導いた。

5月21日・22日 世田谷キャンパス・横浜キャンパス 体育祭同時開催

後援会会長挨拶



武蔵工業大学後援会会長

川端 隆司

大変な時代の真っ只中に中山前会長の後任として大任を仰せつかり、
身が竦む思いで武蔵工業大学後援会会長に就任いたしました。
少子化が続き、日本経済も芳しくないという社会情勢の中で、
大学が変革を求められている今、
私たち後援会も変わっていかねばなりません。
かかる時期の会長の任の重責にとまどいを隠せませんが、とはいえ就任しましたからには、
微力ではありますが全力を尽くしたいと考えております。

本後援会は、昭和63年に発足し、平成元年度から活動を開始して、今年で14年目を迎える訳ですが、
武蔵工業大学に在籍する学生のキャンパスライフの向上を支援することを旨に、
大学と協同しながらあらゆる課外活動を支援して参りました。
本年、長年の夢でありました新入学の学生100%入会を達成し、
まさに全学生を後援する会として脱皮し活動を一新しなければならない、
支援活動の内容を充実させて行かねばならない、重要な節目を迎えたと思います。
これについては、全学の在校生全員加入が達成される時期を着地点として過渡期の現在は
ステップバイステップで改革を進めていく事にならざるを得ませんが、
少なくとも今年度に素案作成に着手し変革活動の第一歩を踏み出す所存です。

さて、後援会活動の現状に目を向けてみますと、変革などと大仰な事ではなくとも改善すべき課題はあり、
これらについては既に評議員会で決議して頂いた実行予算の範囲内ではありますが
見直せるところから実施していきたいと考えます。

顧客満足あるいは顧客第一と世に言われていますが、直接の顧客たるサービスを受ける在学生の満足度の向上、
またそのご父母の満足度の向上、充実を続ける横浜キャンパスの会員数増大を視野にいたした支援活動の見直し、
など考えれば枚挙に暇がないかもしれませんが、すこしずつ進めていきたいと思っております。

武蔵工業大学は平成16年度に創立75周年を迎えます。
その75周年記念行事の一環で大学は、(横浜キャンパスはある程度設備の充実が図られたとして)
世田谷キャンパスの食堂あるいは図書館の整備、一部の学舎のリニューアル等、
まさにキャンパスライフの向上に着手し始めています。
このような大きな動きの中ゆえ、何が大学の仕事で、何が後援会の行うべき活動かは明確にしつつも、
大学との連携を一層深め、意義ある学生生活の実現にむけ支援活動を行っていくつもりです。
皆様方のより一層のご支援をお願いする次第です。

*** 平成14年度 評議員会が開催される ***

武蔵工業大学後援会の平成14年度評議員会が平成14年5月25日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館311教室において役員、評議員112名(うち委任出席46名)の出席のもとに開催されました。

評議員会は中山会長の開会の挨拶で始まり、役員及び今年度新しく評議員に就任された29名の方々が紹介された後、議事に入りました。議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明され、その後、この説明に基づいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。

武蔵工業大学後援会平成14年度評議員会

平成14年5月25日(土)
世田谷キャンパス311教室(五島記念館1F)

- 1.開会の辞 中山会長
- 2.報告事項
平成14年度後援会入会者数及び会員数について
- 3.議 事
 - 第1号議案 平成13年度 事業報告について
 - 第2号議案 平成13年度 決算報告について
 - 第3号議案 平成14年度 事業計画(案)について
 - 第4号議案 平成14年度 予算(案)について
 - 第5号議案 平成14年度 役員候補者について
 - 第6号議案 武蔵工業大学75周年記念事業の寄付について
 - 第7号議案 武蔵工業大学後援会緊急奨学金規定の変更について
- 4.そ の 他
- 5.閉会の辞 川端新会長



*** 堀川学長からの挨拶



*** 議事進行を務める中山会長と浅野学生部長、海老原前学生部長



*** 審議風景(311教室にて)





平成13年度事業報告

1 事業

1. 正課外教育援助

課外活動援助

学生団体連合会への援助
 学生団体連合会への課外活動の援助金として14,000,000円を援助(平成13年7月11日)
 同好会連合及び学科研究会連合に課外活動援助金として1,070,000円を援助(平成13年7月11日、平成13年8月3日)
 「課外活動に対する補助制度」により第1回、第2回、第3回合計51件(同好会及び個人含む)へ総額6,014,485円を援助
 第1回 平成13年7月5日 15団体(17件)
 第2回 平成13年11月16日 14団体(16件)
 第3回 平成14年1月21日 16団体(18件)

主な援助

- (1) 試合結果が優秀につき奨励補助としてラグビー部、アイスホッケー部、アメリカンフットボール部等に対し援助を行った
- (2) 学生団体連合会横浜分室に対しコンピュータ導入費用の補助を行った
- (3) Y.F.A.に対しDRP食器購入費用の補助を行った
- (4) 航空研究部に対し人力飛行機製作の補助を行った
- (5) ヨット部に対し法定安全備品購入費用の補助を行った
- (6) ラグビー部、アイスホッケー部に対し全国大会への出場経費の一部補助を行った

学生行事に対する援助(255,555円)

- (1) スプリングフェスティバルへの援助
- (2) 文化団体連合会主催のミュージックフェスティバルの運営費を援助



ミュージックフェスティバル

強化団体指定による援助(1,200,000円)

平成13年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカンフットボール部、アイスホッケー部、及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を援助
 その他の援助(1,774,500円)
 シャトルバス運行の援助

学生顕彰

大学の学生表彰(学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞)のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈

在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、22名に「後援会長賞」を授与・表彰

平成13年度「後援会長賞」受賞者

氏名	所属	主な功績	進路先
勝山 正紀	機械	吹奏楽団団長	武蔵工業大学大学院(機械修)
堤 英克	機械	モーターサイクル部	武蔵工業大学大学院(機械修)
佐田 和人	機械	機務会会長 特許アイデア研究部部长	(株)INAXシステム・ホールディングス
水野 陽介	機械	ワンデリングスキー同好会会長	その他
福田 智保	機械システム	創玄書道会	その他
宇佐波 健次	機械システム	ラグビー部主将	(株)汪原製作所
津川 裕美子	電子通信	学生団体連合会企画	(株)アプライドエンジニアリング
渡辺 徹	電子通信	バスケットボール部主将	(株)ナナオ
北 大輔	電子情報	学生団体連合会執行委員長	東芝情報システム(株)
東 史恭	建築	ハンドボール部主将	武蔵工業大学大学院(建築修)
岸田 聡介	土木	学生団体連合会副委員長 MI-TECH横浜祭実行委員会実行委員長	日本舗道(株)
林 賢史	土木	アイスホッケー部主将	北海道旅客鉄道(JR北海道)
丸銭 淑仁	土木	サイクリング部部长	前田道路(株)
榎 佳紀	経営	体育会本部会計 バトミントン部主将、主務	(株)ラック
亀井 寛之	経営	MFA委員長	(株)大和総研
米山 剛史	経営	アメリカンフットボール部主将	パンフィックスシステム(株)
直井 隆行	環境情報	ヨット部主将	武蔵工業大学大学院(環境修)
齊藤 隆之	環境情報	フットサル部主将	佐藤建設工業(株)
佐藤 千佳	環境情報	少林寺拳法部主将	日本サード・パーティ(株)
猿田 友	環境情報	YFA委員長	バイオテック(株)
本多 太郎	環境情報	学生団体連合会横浜分室長	その他
仲野 良	電気工学専攻	ラグビー部	日本放送協会(NHK)

学生の生活指導に対する援助

全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を援助(1団体1名を義務付け、58名が参加)
 就職活動に対して援助

2 「大学と父母との連絡会」への援助と協力

全国25会場で開催された「父母との連絡会」の費用の一部を負担
 東京及び横浜会場においては中山会長が後援会を代表して挨拶(平成13年9月29日)
 地方会場においては、評議員の方々にて会の運営等にご協力をお願いした

3 大学行事への援助と協力

平成13年度入学式に中山会長が来賓として出席し祝辞(平成13年4月2日)
 体育会主催の体育祭への援助(平成13年5月)
 学生団体連合会主催によるMI-TECH横浜祭の運営資金を援助(平成13年5月)
 学生団体連合会主催によるMI-TECH祭の運営資金を援助(平成13年11月)
 平成13年度学生表彰授賞式に中山会長が出席し、課外活動奨励賞を授与(平成14年2月25日)



学生表彰授賞式



平成13年度学位授与式に中山会長が来賓として出席し、「後援会長賞」を授与(平成14年3月19日)

4 後援会緊急奨学金

会員の家計急変により学業の継続が困難な学生に対して授業料相当額(全額又は半額)を貸与する緊急奨学金は、平成13年度は、2名に対し総額2,340,000円を貸与
(第1回 平成13年5月22日、第2回 平成13年10月26日)

5 .会報の発行

後援会の会誌「Mi-com24号」を刊行し、会員へ送付(平成13年8月)
後援会の会誌「Mi-com25号」を刊行し、会員へ送付(平成14年1月)

6 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)に対する援助

平成13年4月6・7日(環境情報学部)、
平成13年4月13・14日(工学部)
に実施された新入生を対象とした
研修行事に対して援助



フレッシュマンキャンプ

7 入会案内等の送付

平成13年度入学者のうち、未入会の父母宛に再度入会案内を送付(平成13年4月18日)

平成14年度各入学試験合格者の合格通知に後援会パンフレットを同封して発送

・A方式入試(一般入試)

平成14年2月13日(工)

平成14年2月19日(環)

・B方式入試(センター試験利用入試) 平成14年2月13日

・C方式入試(一般入試) 平成14年3月5日

8 .その他

学生(会員)等の死去に際し、香典・花環等を供えた

大学へ「課外活動奨励賞」の候補者の推薦依頼

大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼

2 運営

1 .理事会(2回)

平成13年5月12日(土)

第1号議案 平成12年度 事業報告について

第2号議案 平成12年度 決算報告について

第3号議案 平成13年度 事業計画(案)について

第4号議案 平成13年度 予算(案)について

第5号議案 平成13年度 役員候補者について

平成13年11月23日(金・祝)

第1号議案 平成13年度 後援会事業経過について

第2号議案 平成13年度 後援会会員数について

第3号議案 平成13年度 「大学と父母との連絡会」の結果について

第4号議案 後援会の次年度に向けての運営について

4-1 平成14年度 後援会主要会議等予定(案)

4-2 平成14年度 後援会役員、評議員構成(案)

第5号議案 武蔵工業大学75周年記念事業の寄付について

2 .評議員会(1回)

平成13年5月26日(土)

第1号議案 平成12年度 事業報告について

第2号議案 平成12年度 決算報告について

第3号議案 平成13年度 事業計画(案)について

第4号議案 平成13年度 予算(案)について

第5号議案 平成13年度 役員候補者について

なお、当日は評議員会に先立って、新たにお願いする評議員の方々の学内見学を行い、また評議員会終了後には、大学教職員との懇談会を開催した

3 .会計監査

平成13年4月21日(土)

高橋、藤田両会計監査により、平成12年度の会計監査を実施

4 .その他

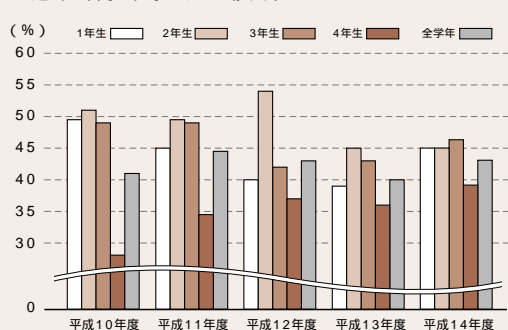
後援会事務担当者の採用(専任・アルバイト 平成13年4月-平成14年3月)

平成14年度後援会会員数 (平成14年4月15日現在)

学部		工学部								環境情報学部		合計	
学科	学年	機械	機械システム	電気電子	電子通信	電子情報	建築	都市基盤(旧土木)	システム情報(旧経営)	エネルギー・量子(旧原子力)	環境情報		情報メディア
1年生		124	98	121	111	71	130	109	117	53	196	253	1383
2年生		83	68	75	91	64	83	77	69	41	131	0	782
3年生		109	76	104	87	55	88	84	86	40	138	0	867
4年生		132	93	100	114	92	121	141	142	57	206	0	1198
合計		448	335	400	403	282	422	411	414	191	671	253	4230

大学院		工学研究科						環境情報学研究科	合計	
専攻	学年	機械	機械システム(旧生産機械)	電気	建築	都市基盤(旧土木)	経営	エネルギー・量子(旧原子力)		環境情報
修博	合計	52	29	146	40	35	22	29	13	366

過去5年間の在学生クラブ加入率



平成13年度 決算書

平成13年4月1日～平成14年3月31日

科 目	平成13年度 予算	平成13年度 決算	差 異	備 考
(収入の部)	(円)	(円)	(円)	
1. 会費	44,650,000	40,070,000	4,580,000	新入生の加入者
2. 奨学金返済収入	1,072,500	783,000	289,500	奨学金返済金
3. 雑収入	110,000	111,851	1,851	利息収入
4. 前年度繰越金	8,421,193	8,421,193	0	
収入の合計	54,253,693	49,386,044	4,867,649	
(支出の部)				
事業費	44,620,000	38,537,009	6,082,991	
5. 正課外教育援助費	28,720,000	25,356,540	3,363,460	援助の内容については下表を参照
6. 父母連絡会費	3,400,000	3,488,969	88,969	全国各地で年1回大学と共催
7. 大学行事協力費	2,700,000	2,626,500	73,500	体育祭、MI-TECH祭(学園祭)等
8. 学生厚生援助費	2,000,000	0	2,000,000	厚生設備等への援助
9. 奨学資金費	3,000,000	2,340,000	660,000	緊急奨学金
10. 会報発行費	2,700,000	2,625,000	75,000	後援会広報誌の作成(2回)
11. 新入生研修行事費	2,100,000	2,100,000	0	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運営費	7,130,000	6,418,192	711,808	
12. 事務費	4,400,000	4,403,598	3,598	人件費、事務委託費、消耗品費
13. 会議費	1,100,000	873,099	226,901	理事会、評議員会
14. 印刷・通信費	500,000	341,710	158,290	通知、案内の郵送、印刷代
15. 旅費・交通費	1,000,000	773,450	226,550	地方評議員、役員の旅費
16. 備品費	100,000	0	100,000	後援会関係の備品、什器
17. 雑費	30,000	26,335	3,665	振込手数料等
予備費	500,000	634,195	134,195	慶弔費、後援会費徴収システム開発援助
特別会計	2,000,000	2,000,000	0	
18. 後援会基本積立	0	0	0	将来の事業拡大のため
19. 記念事業費積立	1,000,000	1,000,000	0	大学創立記念事業協力
20. 学生事故対策援助費積立	1,000,000	1,000,000	0	学生事故対策として1000万円まで積立
21. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小計	54,250,000	47,589,396	6,660,604	
次年度繰越金	3,693	1,796,648	1,792,955	
支出の合計	54,253,693	49,386,044	4,867,649	

予算に対し決算が超過した場合に 印を付した。

正課外教育援助費内訳

科 目	平成13年度 予算	平成13年度 決算	差 異	援 助 対 象
正課外教育援助費	28,720,000円	25,356,540円	3,363,460円	
課外活動援助費	27,020,000	24,314,540	2,705,460	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用。 (オ)は強化指定団体制度により運用
内訳				
(ア)学団連援助	14,000,000	14,000,000	0	学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	1,120,000	1,070,000	50,000	学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(ウ)一般援助	8,400,000	6,014,485	2,385,515	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	500,000	255,555	244,445	スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル等
(オ)団体強化援助	1,200,000	1,200,000	0	強化指定団体
(カ)その他の援助	1,800,000	1,774,500	25,500	シャトルバス援助
学生顕彰費	700,000	716,000	16,000	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	1,000,000	326,000	674,000	救命講習会受講料援助、就職活動援助等

平成14年度事業計画

1 事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより一層の活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して援助を行う

課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による援助を行う

学生団体連合会へ課外活動の援助金を支給

学生団体連合会へ準加盟の同好会及び学科研究会の各連合団体へ組織運営のための援助金を支給

*以下の2項目の援助については、援助希望団体(個人)の申請に基づき、大学学生部の意見をを受けて決定

「課外活動に対する補助制度」による一般援助を行う

課外研究、対外活動、環境向上活動、情報収集活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等

学生行事への援助を行う

スプリングフェスティバル、ミュージックフェスティバル、公開企画、特別行事等に対する援助

強化団体指定による援助を行う

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための援助を行う(関東リーグ3部以上相当:関東ランキング24位前後以上を目安)

その他の援助を行う

シャトルバス運行の援助

学生顕彰

課外活動奨励賞の授与

学生表彰授賞式において、課外活動奨励賞として、賞状及び副賞を授与

後援会長賞の授与

学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献した学生約20名を表彰し、賞状及び副賞を贈呈

学生生活指導

学生の生活指導に対する援助を行う

学生団体の責任者を対象とした「リーダーズ研修会」の費用の一部援助

安全教育として学生団体を中心に「救命講習会」の受講を義務付け、その費用を援助

学生(留学生含む)の国際交流活動に対し援助

その他学生生活指導上必要とみとめられる事柄

2 「大学と父母との連絡会」の開催

全国各地において「大学と父母との連絡会」を共催する

今年度は、本学会場(世田谷キャンパス・横浜キャンパス)を含め26会場で開催する

本学会場は、平成14年9月28日(土)

3 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

平成14年5月25日(土)の評議員会終了後の懇談会を大学教職員と後援会役員等と歓談する

4 大学行事への協力

大学及び学生が主催する大学行事、企画への援助協力を行う

(体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭)

5 学生厚生援助

学生の厚生施設・設備の充実のための援助を行う(学生利用施設)

6 緊急奨学金の貸与

会員の家計の急変により学業の継続が困難な学生に対し、授業料相当額(全額又は半額)を貸与する

7 会報の発行

後援会の会誌「Mi-com」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡するとともに、誌面を通して会員相互の親睦をはかる

8 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

毎年4月に実施する新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの援助を行う

9 学生の就職活動援助

2 運営

1 会議

理事会 2回 平成14年5月11日(土)、11月23日(土・祝)

評議員会 1回 平成14年5月25日(土)

2 その他

後援会事務担当者の採用

(専任・アルバイト 平成14年4月1日～平成15年3月31日)

お知らせ

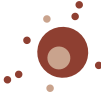
武蔵工業大学後援会 ホームページ随時更新!

昨年度4月より開設した本会のホームページはもうご覧になりましたか?本会の事業内容・活動状況をはじめ、Mi-com(マイコム)のバックナンバー等、武蔵工業大学後援会に関する様々な情報を掲載しております。内容の更新も随時行っておりますので、是非ご利用ください。

ホームページアドレス


<http://www.comm.musashi-tech.ac.jp/~kouenkai>





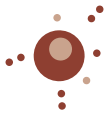
平成14年度 予算

科目	平成14年度予算	備考
(収入の部)	(円)	
1. 会費	69,300,000	新入生の加入者
2. 奨学金返済収入	1,503,500	奨学金返済金
3. 雑収入	32,000	利息収入
4. 前年度繰越金	1,796,648	
収入の合計	72,632,148	
(支出の部)		
事業費	59,600,000	
5. 正課外教育援助費	29,200,000	援助の内容については下表を参照
6. 父母連絡会費	3,800,000	全国各地で年1回大学と共催
7. 大学行事協力費	3,000,000	体育祭、MI-TECH横浜祭、MI-TECH祭等
8. 学生厚生援助費	4,000,000	厚生設備等への援助
9. 奨学資金費	6,700,000	緊急奨学金
10. 会報発行費	3,200,000	後援会広報誌の作成(2回)
11. 新入生研修行事費	5,700,000	全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
12. 就職活動援助費	4,000,000	
運営費	8,450,000	
13. 事務費	4,800,000	人件費、事務委託費、消耗品費
14. 会議費	1,100,000	理事会、評議員会
15. 印刷・通信費	1,400,000	通知、案内の郵送、印刷代
16. 旅費・交通費	1,000,000	地方評議員、役員の旅費
17. 備品費	100,000	後援会関係の備品、什器
18. 雑費	50,000	振込手数料等
予備費	500,000	慶弔費等
特別会計	4,000,000	
19. 後援会基本積立	4,000,000	
20. 記念事業費積立	0	大学創立記念事業協力
21. 学生事故対策援助費積立	0	学生事故対策として1,000万円まで積立
22. 特別課外活動援助費積立	0	大規模な対外遠征援助500万円まで積立完了
小計	72,550,000	
次年度繰越金	82,148	
支出の合計	72,632,148	



正課外教育援助費内訳

科目	平成14年度予算	援助対象
正課外教育援助費	29,200,000円	
課外活動援助費	27,600,000	(ア)(イ)(ウ)(エ)は「課外活動に対する補助制度」の費用。 (オ)は強化指定団体制度により運用
内訳		
(ア)学団連援助	14,000,000	学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MI-TECH祭実行委員会、MI-TECH横浜祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(イ)同好会・学科研究会援助	1,400,000	学団連準加盟の同好会及び学科研究会の連合各団体
(ウ)一般援助	8,400,000	課外研究、対外活動、情報収集活動、環境向上運動、用具整備、特別企画、地域活動
(エ)学生行事援助	500,000	スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル等
(オ)団体強化援助	1,200,000	強化指定団体
(カ)その他の援助	2,100,000	シャトルバス援助
学生顕彰費	900,000	課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導費	700,000	リーダー教育、救命講習会受講料援助、学生の国際交流指導等



平成14年度 役員・評議員



役員 (敬称略)

会長	川端 隆司	電気電子	(新)	理事	佐丸 雄治	土木	(再)
副会長	安部 實	建築学	(再)	理事	山崎 郁太郎	経営	(再)
副会長	神山 次郎	電気電子	(新)	理事	上月 直登	機械	(新)
理事	三宅 ヨシノリ	電気工学	(再)	理事	首藤 光宏	機械	(新)
理事	谷口 育生	エネルギー量子工学	(再)	理事	千田 哲也	機械システム	(新)
理事	鎗居 秀禎	機械	(再)	理事	松居 正	電気電子	(新)
理事	山田 亨	電子通信	(再)	理事	相模 静夫	経営	(新)
理事	小林 昭夫	電子情報	(再)	理事	石田 敏道	エネルギー基礎	(新)
理事	原澤 孝夫	経営	(再)	理事	青柳 廣	環境情報	(新)
理事	小田 俊理	経営	(再)	理事	飯田 真也	環境情報	(新)
理事	吉川 秀二	エネルギー基礎	(再)	会計監査	高橋 佑太郎	電気工学	(再)
理事	飯尾 紀直	環境情報	(再)	会計監査	久保木 伸浩	機械	(新)
理事	置田 泰和	機械	(再)				
理事	高橋 渡	電子通信	(再)	顧問	学長 堀川 清司		
理事	辻 定彦	電子情報	(再)	顧問	教授 海老原 大樹		



評議員 (敬称略)

四方 英雄	千葉県	電気工学	(再)	井上 博	神奈川県	電気電子	(再)	桑名 好治	神奈川県	機械システム	(新)
多胡 護	岡山県	機械工学	(再)	与那原 正	沖縄県	電子情報	(再)	木村 喜一	埼玉県	電気電子	(新)
大石 隆重	埼玉県	機械システム工学	(再)	十河 護	香川県	建築	(再)	長尾 幸次郎	岡山県	電気電子	(新)
北本 正義	広島県	土木工学	(再)	酒寄 光男	栃木県	経営	(再)	松井 敏明	東京都	電気電子	(新)
村田 統治	東京都	機械工学	(再)	磯部 義久	静岡県	エネルギー基礎	(再)	榎本 英雄	神奈川県	電子通信	(新)
加部 祥司	神奈川県	機械工学	(再)	岩田 邦男	神奈川県	エネルギー基礎	(再)	坂本 静夫	神奈川県	電子通信	(新)
森岡 隆行	東京都	電気電子	(再)	相坂 功	新潟県	環境情報	(再)	沼田 実	青森県	電子通信	(新)
森下 圭太	静岡県	電気電子	(再)	阿部 賢一	千葉県	環境情報	(再)	桑田 哲夫	東京都	電子情報	(新)
江本 豊海	神奈川県	電子通信	(再)	石川 健哉	茨城県	機械システム	(再)	後藤 達也	宮城県	電子情報	(新)
打本 幸雄	石川県	経営	(再)	神田 積	広島県	電気電子	(再)	中野 英一	大分県	電子情報	(新)
太田 秀夫	東京都	機械	(再)	税所 廣志	宮崎県	電気電子	(再)	川本 裕資	群馬県	建築	(新)
齋藤 文彦	東京都	機械システム	(再)	大塔 容弘	東京都	電子通信	(再)	香西 信一郎	千葉県	建築	(新)
豊後 博己	兵庫県	機械システム	(再)	安田 一行	福岡県	電子通信	(再)	中村 秀文	神奈川県	建築	(新)
小田 淳一	栃木県	電子通信	(再)	熊添 政治	千葉県	電子情報	(再)	前田 稔	神奈川県	都市基盤	(新)
石原 昌司	沖縄県	電子情報	(再)	高島 勝義	群馬県	電子情報	(再)	増田 和茂	東京都	都市基盤	(新)
齊藤 淳三	千葉県	電子情報	(再)	明地 恭敬	愛媛県	建築	(再)	岡野 雄治	千葉県	システム情報	(新)
栗本 靖彦	群馬県	建築	(再)	大深 修	岡山県	建築	(再)	山口 雄司	神奈川県	システム情報	(新)
齋藤 邦宏	埼玉県	建築	(再)	青木 茂	栃木県	土木	(再)	皆川 勇治	新潟県	エネルギー基礎	(新)
石黒 勝利	北海道	土木	(再)	笠原 徹	神奈川県	土木	(再)	村井 和夫	東京都	エネルギー基礎	(新)
宮代 信英	福島県	経営	(再)	奥 行夫	鹿児島県	経営	(再)	天野 強二郎	埼玉県	環境情報	(新)
林 雅彦	東京都	エネルギー基礎	(再)	茅野 元昭	愛知県	経営	(再)	井澤 邦輔	神奈川県	環境情報	(新)
相馬 郁夫	神奈川県	環境情報	(再)	久保田 俊治	山梨県	エネルギー基礎	(再)	渡部 正博	北海道	環境情報	(新)
古岡 孝	東京都	環境情報	(再)	栗城 源一	福島県	環境情報	(再)	稲垣 公一	静岡県	情報メディア	(新)
川村 潤	東京都	機械	(再)	江森 則雄	東京都	機械	(新)	高田 育紀	栃木県	情報メディア	(新)
高島 和憲	東京都	機械	(再)	野口 雅人	神奈川県	機械	(新)	森 民生	東京都	情報メディア	(新)
阿部 栄一	神奈川県	機械システム	(再)	福岡 一義	千葉県	機械システム	(新)				
原田 洋一	高知県	機械システム	(再)	榎本 稔	京都府	機械システム	(新)				

(新)は新任、(再)は再任



平成13年度「課外活動に対する補助」による援助

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。

これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられているものです。

統括団体への援助

団体名	代表者名	申請件名	決定額
学生団体連合会	高井 健太	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	14,000,000
同好会連合本部	木村 文洋	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	770,000
学科研究会連合	林田 勇武 橋本 美紀 小泉 知之	今年度の本部及び傘下団体の活動費援助について	300,000

一般補助 第1回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
学生団体連合会	高井 健太	各団体への連絡用ポストの追加設置	部への昇格団体の増加に伴い、連絡用のポストが不足。各団体への連絡の不備等危惧される。円滑且つ柔軟な対応のための追加設置の援助希望。	38,052
学生団体連合会 横浜分室	田中裕美子	新型PC導入費用の補助(MO付)	現在使用のPCの老朽化に加え、電子メールが利用できない、他PCでの作成書類が開けない等、問題あり。今後他団体も利用するため補助希望。	167,790
体育会本部	堀内 聡行	体育会ナイトラリー	7月7、8日予定のナイトラリーに昨年同様多くの参加者が見込まれ、その運営費の補助	243,600
新聞会	濱田 有士	パソコン新規購入に対する補助	本会発行の学内情報新聞「Mitwork」の紙面作成向上のためパソコン新規購入を計画。新聞会会員の9割が横浜キャンパスの学生のため、横浜で紙面編集を行う機会が増え、パソコンの必要性を強く実感。	99,059
M.F.A.	前島 正人	パソコンリース3年目(¥144,900)及びパソコン新規購入(¥272,947)に対する補助	パソコンリース3年目の補助。 MFAの人数の増加に伴いパソコンが不足。最低限、各部署(広、企、管)に1台は必要不可欠。効率のよい活動を行いたく、補助申請。	144,900 155,295
鉄道研究部	菊池 桂一郎	横浜祭参加のための一部経費の援助	横浜祭に参加。写真展、模型運転会を催す。多数の来場があり大盛況であったが、経費がかさみ今後の参加が危ぶまれる。来年度以降も横浜祭を盛り上げていく上で、輸送費用等を含め、補助希望。	42,680
ラジオクラブ	大村 貴俊	ハムフェア2001への出展参加	アマチュア無線の中で最大級のイベントであるハムフェア2001に参加予定。他クラブとの技術的な情報交換ができる等、我がクラブの年間目標である。出展参加料等、補助希望。	50,000
硬式野球部	宮崎 晃	東都大学野球連盟上納金追加のため	今年度70周年を迎える東都リーグは記念行事を行うため各加盟大学は、4部で1校45万円を納めなければならない。経済的に非常に厳しい状況である。毎年の連盟費もOBの方々の寄付金でなんとか賄っている状態で、今回の上納金の補助は我が部運営にあたり絶対的に必要。	100,000
ワンダー フォーゲル部	荒井 善正	部活動に使用する無線機代と開局申請費用 平成13年度の部活動に対する保険代	緊急時の外部との通信手段として無線機を購入。使用にあたり、アマチュア無線技師の免許取得が必要。各部員の金銭的負担が厳しく、補助希望。 山岳地帯や離島を中心の活動のため、万一の事故に備え障害保険に加入。合宿等で金銭的に余裕がなく補助希望。	30,000 43,920
バスケットボール部	宮崎 泰邦	2001関東理工系トーナメント優勝 2001関東理工系1部リーグ優勝	関東理工系大学最大規模の30校参加の左記大会で優勝。活動消耗品等増え、補助希望。 4部まであるリーグの1部に所属。優勝を果たした。優勝に向けての練習での諸費は予算内でおさまらず、補助希望。	100,000
アイスホッケー部	林 賢史	練習のためのリンク代補助	工大に練習施設がないため毎週2回横浜プリンスホテルスケートセンターのリンク使用。使用料、交通費にかなりの経費がかかる。今年は2部昇格を目指し、より一層練習回数を増やしたく補助希望。	450,000
ヨット部	関沢 創一郎	船体の老朽化によるメンテナンス(費用の増加)及び安全備品の買い換え	船齢6年目を迎え老朽化が進みメンテナンス費が増加。3年に1度の船検の時期でもあり、9月の試乗会の安全性も考慮し、安全備品買い換え等の援助希望。	70,000
ゴルフ部	石渡 寛正	平成13年度関東大学春季E・F・Gブロック対抗戦の遠征費用の補助	那須小川ゴルフクラブにて、左記対抗戦、Fブロック準優勝となり、Eブロック昇格を果たした。宿泊費・プレーヤー・交通費等出費がかさみ補助申請。	100,000
ワンデリングスキー 同好会	石井 将也	長野県知事杯への活躍に 対しての奨励補助	毎年参加の左記大会で高成績を収める。今後の活躍のために練習環境を整える必要があり、補助申請。	100,000
スカイスポーツ 同好会	高見沢 洋和	スポーツ安全保険における補助	保険の加入には必要最小限なものと考えられる。その保険料の支払いは学生にとり負担であるため補助申請。	40,500
合計	15 団体		17 件	1,975,796

一般補助 第2回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
Y.F.A.	足立 英里	レーザープリンタ購入に関して DRP食器購入に関して	現在保有の機械は古い為、性能が低下し学園祭に向けて深刻な状態である。Y.F.Aの活動上、より高い性能のレーザープリンタの購入が必要の為、補助希望。 MI-TECH横浜祭では環境負荷軽減を図り、DRP(Dish Returns Project)というシステムを導入。このシステム上、必要な食器が現在保有の個数では対応しきれず、来年度新学科増設もあり新規購入が必要である。補助希望。	24,990 63,000
体育会本部	宮川 賢悟	パソコンリース費用の補助	昨年より補助をいただいているパソコンリースの更新。体育会各部への配布書類や学内行事における大学や協力団体への書類の作成、体育会本部のホームページの作成、他大学や他団体との連絡等に必要。補助申請。	98,280
鉄道研究部	菊池 桂一郎	電車とバスの博物館におけるNゲージ模型大運転会	夏休みイベントNゲージ大運転会にて当部所有の大レイアウトを使用。例年大盛況のこの企画は我が校の知名度を高める絶好の場となっている。しかし毎年使用する為破損が目立ち、補修に多額の費用を要した。部誌も部員増加により編集費がかさみ発行できない状態である。補助希望。	50,000
マンドリンクラブ	池谷 純一	第39回定期演奏会	来年第40回定期演奏会を迎えるにあたり、合宿・コーチ費用に経費がかかる。部員数減少により負担が大きく、今後の部員減少防止のために補助希望。	50,000



天文研究会	宮崎 一裕	プラネタリウム改良と補助 投影装置製作費の補助	MI-TECH祭、横浜祭でプラネタリウムの上映を行ってきたが、入口部分や星座絵の投影装置を長年使用の為、トラブル発生。改良をすることに決定したが、部の年間予算では製作費の捻出が困難。補助希望。	42,000
ワンダー フォーゲル部	荒井 善正	赤十字救急法救急員養成講習会 への参加費	我が部では山岳地帯、離島を中心に幅広く活動している。万一の事故に備え一般救急法の講習会の受講は必要不可欠である為、参加費の補助希望。	6,000
バスケットボール部	宮崎 泰邦	大阪工業大学定期戦	今年は我がバスケ部が大阪に行く番であり、交通費・宿泊費を自費負担しなければならない。夏の大会でユニフォームを新調したことでOBからの寄付金が得られない為、賄いきれない部分の補助申請。	30,000
水泳部	鎌田 直樹	冬季練習場レンタル料	本学には屋内プールがない為、9月以降は辰巳国際水泳場を週1~2回練習場として使用。1回の使用料が5,000円の為、部費、部員からの臨時徴収では全て払うことができず、補助申請。	50,000
		全日本学生選手権 出場	9月4,5,6日に行われた全日本学生選手権(辰巳国際水泳場)に竹村亜衣(環2年)が2年連続出場。この大会は国内の学生トップスイマーが集う大会であり、本学水泳部史上2人目の快挙である。	20,000
ハンドボール部	三輪 行宏	関東学生ハンドボール連盟 2001年秋季リーグ戦男子3部優勝	左記大会男子3部において優勝を果たした。入れ替え戦にて1点差で惜しくも敗れたが、来年の春季リーグ2部昇格、さらに東インカレ出場を目指し練習に励んでいる。	100,000
弓道部	山中 弘毅	全日本学生弓道選手権大会 個人戦 決勝進出	左記大会において電子情報3年井口香保利が決勝に進出。部内の向上心を高めると共に他の部員への励みにもなった。	10,000
アメリカン フットボール部	米山 剛史	秋季リーグ戦参加費等の補助	秋季リーグ戦加入代、登録費、コーチ代、20枚割り当てのチケット代、試合道具運搬費等々、多額の費用を要する為、補助希望。	100,000
フットサル部(WOODS BEAR)	小野 拓来	カールスバークカップ 準優勝	左記大会において準優勝を果たした。	20,000
横浜音楽団体連合	木村 悟朗	共有の機材購入について	新たなサークルも加入し活動が活発になったが、機材の面ではそれに見合うものではない。現在4年生生物の機材を使用しているが卒業時は返却せねばならず、来年の活動に危機を感じる。スピーカー購入代他、補助希望。	209,580
ワンデリングスキー 同好会	石井 将也	スキー総合保険の補助	スキーは危険なスポーツの為、傷害保険、第三者に対する賠償責任及び用品の保険は必要不可欠。合宿費用・大会費用等多額の負担がかかり、学業・アルバイトの両立による活動継続は困難。補助申請。	50,000
合計	14 団体		16 件	923,850

一般補助 第3回分

団体名	代表者名	申請件名	申請理由	決定額
学生団体連合会	高井 健太	印刷機リース代(2回目)	印刷機の継続利用。	210,420
学生団体連合会 横浜分室	田中祐美子	印刷機導入(第2回目リース代) 費用の補助	完成年度を迎え、団体数も増えた横浜キャンパスでの諸団体の活動の活性化に備え、印刷機導入にかかる費用の補助。	194,040
Y F A .	足立 英里	PCサーバ購入に関する補助	2000年度MI-TECH横浜祭より、従来までの広報活動に加え、本キャンパスの特徴であるインターネット環境有効利用のホームページ上での情報展開を現在まで実施。Y F A には独自のサーバ構築設備がなく、補助申請。	44,100
新聞会	桜井 康雅	ラグビー部の全国大会出場に 対する取材の補助	ラグビー部の全国大会出場は誇らしいことであり、全学的にアピールする必要がある。本会の学内新聞「Mitwork」にこの記事を記載する為、会場の名古屋への取材費の補助申請。	123,960
放送会	玉田 智行	コンピュータのプリンタ購入費用 の補助	毎週昼休みにを行っている放送番組は我が大学での情報伝達に大きく貢献。今後より楽しく有意義な番組にする為に、インターネットなどから迅速な情報入手が必要であり、コンピュータのプリンタの購入が望まれる。高額な為、補助申請。	32,319
鉄道研究部	渡辺 泰輔	機関誌「スチールカー学祭号」 発行について	機関誌「スチールカー学祭号」を学祭にて無料配布。今年度の年間テーマ「東京急行電鉄」は例年以上に充実した研究を行うことが出来、「電車とバスの博物館」の職員からも高い評価を得た。ページ数、掲載写真等もそれに伴い昨年よりはるかに増し、費用もかさんだ。部費で賄うには限界であり、補助希望。	50,000
演劇部	野々宮正晃	演劇部第17回公演に関する補助	年2回我々の希望に最適な千本桜ホールにて公演を行っている。以前は部費等で公演経費を賄っていたが、近年部員減少によりホール代、公演費の捻出が困難。補助希望。	50,000
ラジオクラブ	大村 貴俊	第19回神奈川県非常通信訓練 コンテスト優勝	左記コンテストにおいて県外430MHz部門の優勝(実質県外総合優勝)を果たした。非常時に最も有意義な通信手段であるアマチュア無線。今後の活躍に向け、補助希望。	10,000
モーターサイクル部	置田 和弘	ガレージ横の不用物処理に 関する補助	我が部ガレージ横の廃油、廃タイヤ、不用バイク等、学生課からの指導により処理。処理費用が高額であり、廃棄した人物も特定できず、部費にて処理。大きな負担となり、補助希望。	20,000
	堤 英克	ライディングスポーツカップ及び BBM杯・関東大会への出場費用 の補助	レベルが非常に高い耐久レースのライディングスポーツカップにて、堤英克が第1戦、第2戦で2位、第3戦で3位を獲得。また全く方式の違う難関のBBM杯にても上位の成績を残し、ロードレースの名門誌に結果が掲載され武工大をアピールできた。アルバイトでのレース活動も卒業研究で限界となり、補助希望。	20,000
航空研究部	山本 類	人力飛行機の桁費用の補助	「鳥人間コンテスト」出場を目標に活動しているが、7年間使用の人力飛行機の桁に強度上問題が発生。軽量化設計変更の為、新たに桁の購入が必要。毎月の部費では他の必要材料の購入にとどまり、資金面で困難を極めている。補助希望。	300,000
柔道部	菅崎 尊暁	関東理工系四大学対抗柔道大会優勝	左記大会優勝に対して。	30,000
ラグビー部	宇佐波健次	理工系リーグ大会優勝	左記大会優勝に対して。	100,000
ラグビー部		全国地区対抗 ラグビーフットボール大会出場	地区予選において全勝優勝し、1月からの全国大会に出場決定。宿泊費、交通費、備品等の補助希望。	1,242,000
バレーボール部	勝又 努	秋季理工系リーグ5部全勝優勝	秋季理工系リーグ5部において全勝優勝し、4部昇格。更なる練習の為、来年度の体育館新設による支出増加を考慮し、補助希望。	30,000
アイスホッケー部	林 賢史	日本学生氷上選手権大会出場	左記大会出場の為の費用の補助希望。	378,000
ヨット部	木本 智彦	法定安全備品等購入に 対する補助	練習の成果を披露する大事な機会として、毎年学内及び一般の方を対象にヨット試乗会を行っている。有事の際の対応に備え、船舶検査を前に期限のきれそうな法定安全備品を一つずつ購入。高額であるが必要不可欠な装備の為、援助を希望。	80,000
アメリカン フットボール部	米山 剛史	入替戦出場の為の補助	秋季リーグ戦、関東3部Dブロックにおいて優勝。2部校との入替戦出場でチケット代、荷物運搬経費、強化用ビデオ購入等、多額の費用を要する。補助希望。	200,000
合計	16 団体		18 件	3,114,839

★ サッカー元日本代表監督・岡田武史氏特別講演会開催!

2002 スプリングフェスティバル 平成14年4月2日(火) 演題「サッカーと私」

サッカー元日本代表監督として多忙な毎日を過ごされている岡田武史氏をお迎えしての特別講演会。

会場には新入生・保護者の皆様をはじめ約1,000名が詰め掛け、氏の興味深いお話に時に笑い声を交えながら熱心に聞き入っていました。

ここではその熱気あふれる講演会の模様を一部抜粋してお伝えします。



私の大学生時代

皆さんこんにちは。今日は自由参加なのに、これだけの数の人が集まるって言うのは、正直びっくりしました。私の講演は管理者とか経営者の方が多くて、若い人の前で話すの初めてなんですけど、自分の大学時代の頃の事を話して、何か役に立てばと思います。私は早稲田大学に入りましたが、最初、サッカー部に入ってなかったんですよ。漠然と早稲田に行きたいというのがあって受験したんですけど落ちて、1年浪人したんです。そうしたら早稲田の政治経済学部の教授でサッカー部の部長だった先生から手紙が来まして、君は政経の合格最低点の半分にも満たない。もう1年勉強しても絶対に無理。教育学部体育専攻を受けなさいと。悔しかったですね。だから2年目も政治経済学部と法学部、商学部しか受けなかった。そしたら政治経済学部だけ合格したんです。まさか通ると思ってなかった。結局、早稲田の政治経済学部は、出席はあんまり取らずテストさえできればよかった。だから私はね、あまり自慢できるような学生生活を送っていない。テスト前になると勉強はしましたけれど、ただ大学卒業して、指導者になって、いろいろ勉強をして、改めて大学時代にやっておけばよかったなってことはあります。社会に出れば毎日決まった時間に、決まった仕事をしていかなければいけない。でも大学時代っていうのは、時間からはみ出した生活ができる時です。大学生活が4年間か5年間か8年になる人もいるかもしれないけれど、有意義に過ごしてもらいたいと思います。

コンサドーレ札幌でのテーマ

今言ったように、そんな大学時代しか送っていないから、何かアドバイスと言われてもできそうにないので、コンサドーレ札幌で監督をやっている時に、選手によく言っていた話をしたいと思います。私はね、初めに必ず選手にテーマを言います。テーマは日本語で言うと格好悪いんで、横文字にして。それは『Enjoy』、『Thinking About Football』、『Aggressive Play』の3つ。さらに時間を経て、『Improve』を付け加えました。『Enjoy』っていうのは楽しむ事。つまんねえな、面白くないなと思っていたらプロでも絶対にうまくなら

ない。自分がサッカーを始めた時の喜び、ボールを蹴る喜びを忘れてはいけないと。

『Thinking About Football』は、自分で考えてくれ、という意味です。監督やコーチが言うからじゃなくって。僕は結構厳しく言う方で「それじゃダメだ。あと3m後ろだ」と最初から正解をぼんぼん与える。そうすると選手が、だんだん口ポットみたいになるんです。自分で考えないの。ああ、これじゃあいけないと。例えばコーナーキックの守備。1年目の僕は全部指示していた。「お前はここ、お前は誰のマーク」。でも2年目にはキーパーに「お前が守るんだから自分で考えろ」って。最初はみんなで相談しよる。それで「これでいきます」って決まるけど、やっぱり試合でやられる。そこでまたみんなで集まって相談しよる。「こうすることにしました」。そのうちに、自分で自分の意見を言えて、考えられるようになってきた。この頃、自分で考えた目標や夢を常に持って欲しいと言いました。目標と夢っていうのは違うんですよ。よくごっちゃにされるけれど。目標は、論理的な裏づけが無いと駄目なんです。

孫子の兵法に『敵を知り己を知れば百戦危からず』という言葉があります。これはものすごく奥深い言葉です。敵の状況を知って、そして味方のレベルを知る。ところが僕は1年目に「さすが岡田だ」と言われるサッカーで勝たなければと思っていた。傲慢ですよ。だから、選手は苦しくってしょうがない。言われることができないんだから。でも2年目は、相手のチームと自分のチームを分析した。コンサドーレは素晴らしい戦力が揃っているわけじゃない。でも11人が上がりたいから目標は2位以内。自分のチームを分析して目標を立てたら、自ずと戦い方ができてきました。

そして最後の『Aggressive Play』。この意味は、いったんグラウンドへ入ったら能書きはたれんなど。とまかやってみると、やってみないことにはわかんない。正解なんかないわけですから。学校でも総合教育とか、自分でやることを見つけて、自分で考えてやる。ま、いいことです。でも人間なんて弱いものです。強制することも必要です。論理的なことだけでは絶対に勝てない。勝負事っていうのはそういうものが必要なんです。今の代表の中心になっている小野、



岡田武史氏プロフィール

昭和31年大阪生まれ。中学1年でサッカーを始め、大阪天王寺高3年でユース日本代表。早稲田大学3年で総理大臣杯、大学選手権優勝。翌年ユニバシアード日本代表となる。昭和55年古河電気工業株式会社サッカー部に所属。日本代表として第9回アジア大会、ロサンゼルス五輪予選、メキシコW杯予選等に出場。その後、数々の優勝をおさめ平成2年に現役引退。平成4年ドイツへコーチ留学後、平成6年より日本代表チームコーチ、平成9年日本代表チーム監督に就任。その後はコンサドーレ札幌監督を務め、J1昇格を果たす。平成13年シーズン終了後退任、現在に至る。

稲本、中村俊輔を初めて見たのがシドニーオリンピックのオリンピックチームの合宿なんですが、当時からめっちゃくちゃ上手かったです。びっくりしちゃった。センスはある、技術はある、そしてスマートだ。ところが5日間の合宿が終わってね、なんか物足りない。何なんだろうか。みんな淡々とやるんだよね、ジュビロの中山みたいに、取られたボールは絶対取り返してやるとか、目の前の敵に絶対負けなとか、負けている時に「おい行くぞ、絶対勝つぞ」というものが無い。それじゃあ絶対勝負事は勝てません。これ断言できます。トルシエはそれをよく言っていた。そして、彼らに戦わせるようにした。これはすごいことだと思います。運命に流されて、毎日淡々と流れていくのも一つの生き方。でも何か目標を持って自分でトライしていく結果、喜びとか感動っていうのは必ずあります。

今までの3つのポイントを、ずっと選手に言ってきました。そしてJ1へ上がった時、一つテーマを増やしました。それが『Improve』。これは進歩ということです。「去年J2で優勝できたから、同じことやってやれい」では絶対駄目。要するに守りに入って受け身になっては駄目なんですよ。

私と環境問題について

僕ね、講演の最後、必ず話していることがあります。それは環境問題です。僕は学生時代から環境問題をずっとやってきました。当時は、リサイクル?ケチやな、とそういう世界でした。オゾン層の破壊

や温暖化も進んでいるし、いずれ人間が予想もつかない展開になると思います。今、日本人がレストランの食べ残しや、家の残飯で1日どれ位の食料を捨てているか知っていますか? 最低限人間が生きていく1000万人分です。アフリカでは3万人の子供が飢えて毎日死んでいます。自分だけが、自分の会社だけが、日本だけがよくなったって、中国の公害の酸性雨で日本の森林が枯れる時代です。世界中の人が日本と同じレベルの生活をしたら、数十年としか地球はもたないんですよ。例えば日曜日にゲームセンターに行く。これは悪くない。でもゲームセンターの機械っていうのは、大体2ヶ月で新しいものになるそうです。これにつぎ込まれたエネルギー、電気、マテリアル、金属などは消費されるばかりです。戻ってきません。そうじゃなく日曜日に、街のスポーツクラブやJリーグのクラブに行ってサッカーをする、バレーボールやテニスをする、汗を流してビール1杯飲んで帰ってくる。これは物を消費しません。今、我々がやらなくては行けないのは、物の豊かさより心の豊かさ。「物を消費しない」生活にライフスタイルを変えていくことです。Jリーグのチームは、単にサッカーの興業をするだけでなく、理念があります。地域に根ざしたスポーツクラブ。ライフスタイルを変える拠点になりたい、という理念です。そういう意味で、環境の問題にしても、少しでも皆さんが意識して、そしてJリーグにもそんな存在意義があるんだという事を分かって頂いて、応援して頂ければと思います。今日は、どうもご静聴ありがとうございました。

☆自然豊かな竹林に触れ、地域の人々と旬を楽しむ。

横浜キャンパス発 第4回筍掘りに参加して。 新聞会会長 桜井康雅(エネルギー基礎3年)

4月20日(土) 本学横浜キャンパスにて、今年で4回目を迎えた「筍掘り」が行われました。この行事は、横浜キャンパスを活動拠点として、緑地の保全および育成を行っているサークル「Eco-Works(エコワークス)」が企画・開催したもので、竹林環境の整備・保全はいうまでもなく、地域住民とのあたたかな触れ合いや交流も大きな目的の一つとなっています。

本学学生や教職員、地域住民の方々など、参加人数は延べ300人。大人に混じり、たくさんの元気な子供たちの姿も数多く目につきました。掘り当てた筍は各自が自由に持ち帰ることができるため、誰もが泥まみれになりながら悪戦苦闘。私たち新聞会のメンバーも、一本掘り出すとついつい欲が出て、もう一本、さらにもう一本…。最終的には袋から筍があふれる程の大収穫となりました。

筍掘りを終えた後には、掘り出したばかりの新鮮な筍を使った若竹

汁が、参加者全員に無料で振る舞われました。採れたての筍にそれぞれが満面の笑みで頬張り、若竹汁にも、そしてこの行事にも非常に満足している様子でした。





☆ 来場者はナント過去最高の9,091人!

第6回 MI-TECH横浜祭レポート 平成14年度MI-TECH横浜祭運営委員会委員長 足立英里(環境情報3年)

去る6月1日(土)・2日(日)の2日間にわたり、武蔵工業大学横浜キャンパスにおいて、第6回MI-TECH横浜祭が開催されました。地域に密着した祭りとして、また環境にやさしい学園祭として定着しつつある横浜祭。今年は、過去最高の来場者数を記録し、多くの人に楽しんでいただきました。



地域に密着した祭りということで、親子連れの来場者が多いのが横浜祭の特徴。毎年、MI-TECH横浜祭が行われる6月が近づいてくると、スタッフは近隣地域に1万5,000部以上のチラシをポスティングしている。その時に住民の方からいただく「今年もまた行きますね」という温かい言葉がスタッフのやる気につながっている。今年は、横浜キャンパスに新学科「情報メディア学科」が新設され、学生数も施設も増えたため、今まで以上に大学を活用し、学生の足を学園祭に向かせたいという話になった。学生が参加しやすい企画を考案したり、学内の広報をいかに効果的に利用するかに知恵を絞った。スタッフ全員が学園祭を成功させたいという気持ちが強かったため、衝突が起きることも少なくなかったが、話し合いながら一つひとつ問題を解決し、協力し合って当日を迎えることができた。毎年環境にやさしい学園祭として、食堂の方の協力の下、DRP(模擬店食器のデポジット制を利用した回収システム)やごみの分別、フリーマーケットを実施しているが、今年もそれらの取り組みを行った。

昨年は、横浜市から環境事業功労者として表彰されている。

前記のスケジュールにもあるように、様々な企画を行いつつ、学内の管理をするために、スタッフと協力団体、教職員の方々は当日走り回っていた。2日の午後に突然通り雨が降り、メインステージを体育館に移動。その後、雨がやんだため、もう一度ステージを中庭に戻すというアクシデントも発生したが、大きな問題もなく進行できたのは、全スタッフの「なんとか学園祭を成功させたい」という執念の賜物と言えるだろう。

すべての人の、少しずつの好意と努力が重ね合わさってできた学園祭。それが横浜祭だと私は思う。学園祭として随分軌道に乗ってきているが、まだ基盤を作りながら学園祭を作っている状況だ。盛況のうちに終了したのはスタッフの動きもあるが、何より先協力していただいた関係者の方々のおかげがあったことを忘れてはならない。この場を借りて、ご指導ご鞭撻していただいた教職員、並びに関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

企画内容

6/1(土)

Pani Crew ゲストライブ オープニングダンス 御輿
放送会イベント フットサル大会 フリーマーケット
チャリティー喫茶 ストリートパフォーマンス
ミスと女装 de コンテスト フェイスペインティング
ゴスペルコンサート 催眠術 着ぐるみイベント
新聞会映画上映会

6/2(日)

吹奏楽演奏会 体育会企画(あっちのかりものホイ)
演武会 チャリティー喫茶 フリーマーケット
フェイスペインティング 学生プロレス
ハマコイ2002(第1部、第2部) 開祭式
ピンゴリンゴ 後夜祭 着ぐるみイベント
新聞会映画上映会



★薫風そよぐ青空のもと、世田谷・横浜両キャンパスで同時開催!!

武蔵工大恒例 2002年度 体育祭 平成14年度体育祭実行委員長 松尾寿裕(土木3年)

去る5月21日(火)・22日(水)の2日間にわたり、武蔵工大恒例の体育祭が世田谷・横浜の両キャンパスで同時開催されました。競技種目は全部で18。2日間で延べ約4,000人の学生がそれぞれの競技で熱い闘いを繰り広げました。

2002年度 体育祭の総括

本年度の体育祭は天候に恵まれ、各競技種目とも予定通りスムーズに進んだといえる。また、世田谷道場種目の復活とその他の新種目が融合し、応援や競技者の盛り上がりは、例年に負けないものだったと思う。これは現在、体育館が工事中で使用できないことに考慮して、初日に予選を行い、翌日に決勝トーナメントを行うという従来の運営方法を改め、すべての競技を「一日完結型」の種目に変更して開催した結果、両日とも約2,000人の参加者を得られた点が大きな要因といえる。

大盛況を納めたことで、全体的には成功したといえるが、新種目については、ルール等の解釈の違いがあり、参加者に抗議される場面が生じるなど、次年度に向けて改善すべき課題も数多く見つかった。各競技とも一応の盛り上がりを見せていたが、横浜キャンパスで行われた競技の中には、序盤戦での不戦勝が目立つものもあった。これは競技場への移動に時間が必要以上にかかったことや、前例の無い所々のケースに手間取ったことなど、いろいろな理由が考えられるが、この問題は臨時シャトルバスの運行や、事前説明会等の徹底など再検討してみる必要があると思う。

今回の体育祭は、平成14年度体育会本部にとっては初めての大事な仕事であり、体育館工事に伴う様々な問題と向き合い、また克服していくには絶好のチャンスだと受け止めていたが、体育研究室をはじめ、多くの先生方、事務局の方々の多大なご協力のおかげで、大きな事故や問題を起こさずに無事終了することができた。また、体育祭のパンフレット制作にあたっては、スポンサー協力をしていただいた地元商店街の皆様には大変お世話になった。挨拶やお願いをするという行為を通して礼儀や作法を学ぶなど、役員にとってはじめて経験することが多く、とても有意義だった。学校行事として伝統ある体育祭に誕生間もない横浜キャンパスを新たに取り込み、活力ある課外活動を実現できたことは、今後の体育会本部にとって大きな財産になることだろう。

世田谷キャンパス

【開催種目】

剣道 / 紐引き / 卓球 / バレーボール / リレー / 駅伝 / PK合戦 / 綱引き / ソフトボール / 相撲 / 腕相撲 / ドッジボール / キックベース / 騎馬戦 / テニス



横浜キャンパス

【開催種目】フットサル / 3 ON 3 / ドッジボール / バドミントン



平成14年度「大学と父母との連絡会」のお知らせ

全国26ヶ所で開催

後援会と大学との共催により平成14年度「大学と父母との連絡会」を下記の26会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子女の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

平成14年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	時間	会場
札幌	9月14日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	札幌東急イン 〒064-8509 札幌市中央区南4条西5丁目1番地(TEL 011-531-2547)
青森	9月14日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルJALシティ青森 〒030-0803 青森市安方2-4-12(TEL 017-732-2580)
仙台	9月15日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル仙台プラザ 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-20-1(TEL 022-262-7111)
郡山	9月14日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル ハマツ 〒963-8578 郡山市虎丸町3-18(TEL 024-935-1122)
宇都宮	9月15日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	関東チサンホテル宇都宮 〒321-0964 宇都宮市駅前通り3-2-3(TEL 028-634-4311)
水戸	9月14日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルシーズン 〒310-0801 水戸市桜川1-9-6(TEL 029-227-0008)
東京	9月28日(土)	受付開始 12:30 開催 13:00～15:00	武蔵工業大学 世田谷キャンパス 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1(TEL 03-3703-3111)
横浜	9月28日(土)	受付開始 10:00 開催 10:30～14:00	武蔵工業大学 横浜キャンパス 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西3-3-1(TEL 045-910-2500)
高崎	9月15日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルメトロポリタン高崎 〒370-0849 高崎市八鳥町222(TEL 027-326-7982)
新潟	9月14日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルイタリア軒 〒951-8061 新潟市西堀通七番町1574番地(TEL 025-224-5111)
長野	9月 8日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル国際21 〒380-0838 長野市県町576(TEL 026-234-1111)
松本	9月 7日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルニューステーション 〒390-0811 松本市中央1-1-11(TEL 0263-35-3850)
甲府	9月 7日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル談露館 〒400-0031 甲府市丸の内1-19-16(TEL 055-237-1331)
静岡	9月 8日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルアソシア静岡ターミナル 〒420-0851 静岡市黒金町56番地(TEL 054-254-6524)
浜松	9月 7日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	オークラアクティホテル浜松 〒430-7733 浜松市板屋町111-2(TEL 053-459-0111)
富山	9月 8日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	名鉄ヤマホテル 〒930-0004 富山市桜橋通り2-28(TEL 076-431-8242)
金沢	9月 7日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	金沢エクセルホテル東急 〒920-0961 金沢市香林坊2-1-1(TEL 076-231-3912)
名古屋	9月14日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	名古屋国際ホテル 〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-3(TEL 052-961-5822)
京都	9月15日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	新・都ホテル 〒601-8412 京都市南区西九条院17番地(TEL 075-661-7111)
徳島	9月 8日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	阿波観光ホテル 〒770-0833 徳島市一番町3-16-3(TEL 088-622-5161)
高知	9月 7日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	オリエントホテル高知 〒780-0861 高知市升形5-37(TEL 088-822-6565)
岡山	9月 8日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	岡山国際ホテル 〒703-8274 岡山市門田本町4-1-16(TEL 086-273-3900)
広島	9月 7日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78(TEL 082-228-5758)
福岡	9月 8日(日)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテルセンラーザ博多 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街4-23(TEL 092-461-2091)
大分	9月 7日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	大分第一ホテル 〒870-0021 大分市府内町1-1-1(TEL 097-536-1388)
那覇	7月13日(土)	受付開始 9:45 開催 10:00～12:00	ホテル西武オリオン 〒902-0067 那覇市安里1-2-21(TEL 098-863-9013)